

平成30年度・令和元年度 文部科学省委託 令和2年度 長崎県教育委員会委託  
「 人権教育総合推進地域事業 」 研究の概要

研究主題

人とのつながりの中で、仲間とともに伸びようとする児童生徒の育成



高齢者施設での交流学習（中部中学校）



小中合同研修会



児童同士による学び合い（根獅子小学校）



児童同士による学び合い（紐差小学校）

平戸市立根獅子小学校  
平戸市立紐差小学校  
平戸市立中部中学校

## 1 研究主題

人とのつながりの中で、仲間とともに伸びようとする児童生徒の育成

## 2 主題設定の理由

平戸市では、「人間尊重の精神を基調とし、郷土の、古より世界に開かれた輝かしい歴史・文化と美しい自然・豊かな人情を愛し、心身ともにたくましく、生涯を通じて創造的に学び続ける、国際感覚豊かな活力ある人間の育成に努める」ことを教育方針としている。これを受けて、小学校・中学校の教育目標を設定して、その具現化と目標の達成に努めている。また、平成 27 年度から「第 2 期平戸市教育振興基本計画」に基づき、平戸市教育努力目標でうたっている「温もりのある社会をつくる人権・同和教育の推進」のため、様々な施策を推進している。

近年、教育を取り巻く社会の変化は激しく、人口減少、少子高齢化、グローバル化、地域社会の希薄化などが大きな課題となっている。本市においても同様の課題があり、学校が地域社会に果たす役割は大きい。各学校においては、このような変化の激しい社会を生き抜く力を身に付けるためコミュニケーション力の育成を中心とした日常的な取組を、学校全体として継続していくとともに家庭や地域社会と連携して人権教育を推進していくことが必要である。

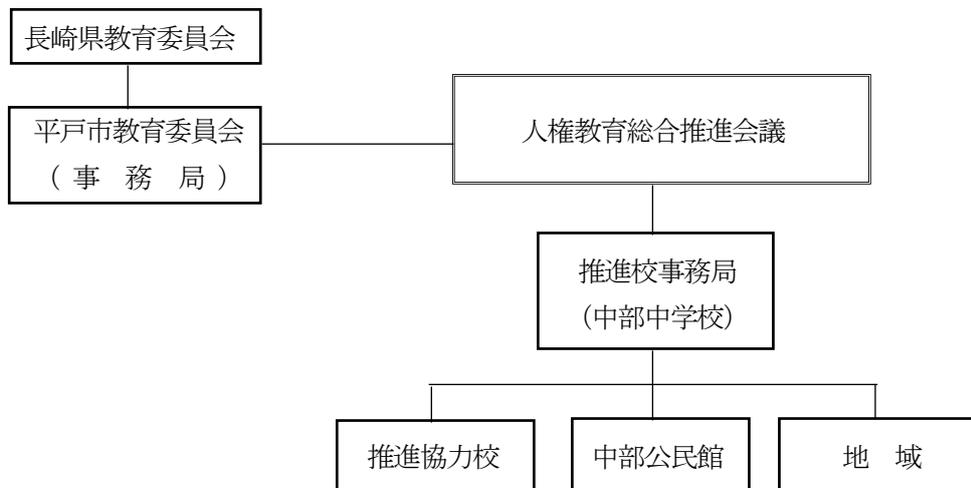
以上のことから、研究主題を「人とのつながりの中で、仲間とともに伸びようとする児童生徒の育成」と設定し、この具現化を通して人権が尊重される地域づくりを目指すこととした。

## 3 研究の推進体制等

### (1) 人権教育総合推進会議と地域連携

下図のように長崎県教育委員会と平戸市教育委員会の指導のもと、人権教育総合推進会議を開催し地域代表者の意見を取り入れて、地域連携を深めながら本地域における人権教育の充実を図った。

人権教育総合推進会議は、長崎県教育委員会担当、平戸市教育委員会担当、各小・中学校の校長、教頭、研究主任、PTA 会長、公民館館長、子育て支援団体連絡協議会代表、青少年健全育成会連絡協議会代表、区長会会長、駐在所員、婦人会会長、主任児童委員代表、少年補導員中部部会長により組織した。



(2) 研究全体図と推進協力校の概要

**中部中学校校区 人権教育総合推進会議**  
 県教委、市教委、3校校長・教頭・研究主任・PTA会長  
 中部公民館館長、中部地区子育て支援団体連絡協議会 等

**【研究主題】**  
 人とのつながりの中で、仲間とともに伸びようとする児童生徒の育成

**【研究仮説1】**  
 学校における教育活動において、一人一人の考えや思いを大切にしながら、お互いの考えや存在を認め合う学習過程を工夫すれば、自他を大切にする態度が高まり、人権を尊重するようになるであろう。

**【研究仮説2】**  
 学校行事や地域行事において、様々な人とふれあいながら、お互いの良さや頑張りを認め合うような場を設定し、実践していけば、児童生徒の自己肯定感が高まり、自他を尊重するようになるであろう。

|  |      |  |
|--|------|--|
| <b>【根獅子小学校 研究主題】</b> 確かな学力を身に付けさせる算数科授業の創造<br>～関わりの中で自他を認め合う集団づくりを通して～ |      |  |
| 学級数 3<br>児童数 26<br>(R2.9.1現在)  | 重点項目 | ① ペアやグループによる対話的な学習場面をつくる。<br>② ガイド表作成など複式授業を研究する。<br>③ 家庭学習の充実や基礎学力の向上を目指す。<br>④ 学力テストやQ-Uアンケートなどの考察を行う。 |

|  |      |  |
|--|------|--|
| <b>【紐差小学校 研究主題】</b> 一人一人の学力を向上させる算数科指導法の研究<br>～対話を通して学び合う授業～ |      |  |
| 学級数 7<br>児童数 123<br>(R2.9.1現在)                               | 重点項目 | ① ペアやグループで、説明したり、分かったことをまとめたり、感想を書いたりする活動を取り入れて、「数学的な考え方」を鍛えていく。<br>② 対話を通して学び合ったり、お互いの考えや意見を認め合ったりするなど、児童同士が関わりながらより良い学級集団づくりを行う。 |

|   |      |   |
|---|------|---|
| <b>【中部中学校 研究主題】</b> 人とのつながりの中で、仲間とともに伸びようとする生徒の育成<br>～人権を尊重した、学び合い、関わり合う活動を通して～ |      |   |
| 学級数 3<br>生徒数 77<br>(R2.9.1現在)   | 重点項目 | ① 自己肯定感を高めさせ、ペア学習・グループ学習を取り入れた授業をつくる。<br>② 学校行事や地域行事への積極的な参加を通して、様々な人とふれあう活動をつくる。 |

### (3) 研究の概要と人権視点項目

#### ①研究の概要

本研究は、平成30年度から令和2年度まで次頁の【表】に記した会議・研修会等を通して県・市教育委員会及び地域団体との連携を図りながら研究を進めてきた。

研究初年度は、過去の指定地域の研究に学びながら、中部中学校区としての人権教育をどのように進めていくのか、ということに焦点を絞って議論した。そして、この議論を通して小・中学校間、そして地域団体との連携を深めていくことに力点をおいた。その取組として、3校合同公演会を開催し、コンサートを通して中部地区住民・児童生徒の一体感を高め、いのちの尊さを体感することができた。

2年目は、「人権意識や自己肯定感を高める授業づくり」に力点をおいて研究を進めた。そして授業における「人権視点項目」について検討し、「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」に記されている「人権が尊重される授業づくりの視点例」を参考に、「自分なりに考え、判断し、表現する（自己決定）」「一人一人の考えや思いを大切に（自己存在感）」「お互いに認め合い、学び合う（共感的人間関係）」を共通項目として3校の学習指導案に記すことにした。さらに3校合同研修会では、長崎大学大学院の藤井佑介准教授をアドバイザーとして招聘して、研究授業を参観していただき、撮影した動画等をもとに助言を受けたことで「子供の学びを観る視点」について理解を深めることができた。

3年目は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から合同研修会や学校行事等を中止・縮小しながらも、各学校で研究を確実に進めた。授業では人権の視点から振り返りや授業評価を行い、児童生徒の人権意識の高まりを検証するとともに、3校ともに学び合いを取り入れることで、研究主題である「仲間とともに伸びようとする児童生徒の育成」を目指すことにした。Q-Uアンケート等を用いて児童生徒の実態把握を行い、特に人とかかわりの項目で得点の低い児童生徒への個の対応について職員間で共通理解を図った。令和2年11月6日に各学校にて研究発表会を行い、人権の視点を踏まえた授業公開と研究協議を通して、人権教育の在り方を伝えるだけでなく、研究校の教職員もその意義を再認識する機会となった。

#### ②人権視点項目について

中部地区3校では、「一人一人の考えや思いを大切にしながら、お互いの考えや存在を認め合う学習過程を工夫する」（仮説1）において、「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]～実践編～」を踏まえ、3つの人権視点項目を設定した。

「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]～実践編～」から抜粋

##### ○人権が尊重される授業づくりの視点例

- ・自己選択・決定の場を工夫して設定する。
- ・自己存在感を持たせる支援を工夫する。
- ・共感的人間関係を育成する支援を工夫する。



#### 「中部地区人権視点項目」

- 【自己決定】・・・自分なりに考え、判断し、表現する。
- 【自己存在感】・・・一人一人の考えや思いを大切に（自己存在感）
- 【共感的人間関係】・・・お互いに認め合い、学び合う。

これらの視点を学習活動や手立てに仕組むことで、自他を大切に（自己存在感）する態度が高まり、人権を尊重するようになると思われる。

〔表〕 人権教育総合推進会議・小中合同研修会等の概要

| 年・月・日       | 内 容                          | 場 所                      |
|-------------|------------------------------|--------------------------|
| H30. 6. 22  | 第1回 学校関係者会議「今年度の事業計画と予算の確認」  | 中部中学校                    |
| H30. 6. 28  | 第1回 人権教育総合推進会議「事業概要と年次計画」    | ふれあいセンター                 |
| H30. 11. 22 | 先進地視察「唐津市立北波多小・中学校研究発表会」     | 北波多小・中学校                 |
| H30. 12. 3  | 3校合同公演会 弓削田健介「いのちと夢のコンサート」   | ふれあいセンター                 |
| H31. 1. 25  | 先進地視察「雲仙市立大塚小学校・吾妻中学校研究発表会」  | 大塚小・吾妻中                  |
| H31. 1. 29  | 第2回 人権教育総合推進会議「研究進捗状況と視察の報告」 | ふれあいセンター                 |
| H31. 2. 12  | 第3回 人権教育総合推進会議「次年度の計画と予算の検討」 | ふれあいセンター                 |
| R1. 6. 17   | 第1回 学校関係者会議「今年度の事業計画と予算の確認」  | 中部中学校                    |
| R1. 6. 27   | 第1回 人権教育総合推進会議「事業概要と年次計画」    | ふれあいセンター                 |
| R1. 7. 11   | 3校合同研修会 2年算数「水のかさをはかろう」      | 根獅子小学校                   |
| R1. 7. 30   | 3校教頭・研究主任会「研究内容の共通性・系統性の検討」  | 中部中学校                    |
| R1. 8. 20   | 3校教頭・研究主任会「研究発表会の日程、Q-Uの活用法」 | 中部中学校                    |
| R1. 10. 1   | 3校合同研修会 1年数学「方程式」            | 中部中学校                    |
| R1. 11. 26  | 3校合同研修会 5年算数「面積の求め方を考えよう」    | 紐差小学校                    |
| R1. 11. 26  | 第2回 人権教育総合推進会議「各校の取組と今後の計画」  | 紐差小学校                    |
| R2. 1. 28   | 第3回 人権教育総合推進会議「次年度の計画と予算の検討」 | ふれあいセンター                 |
| R2. 2. 27   | 3校合同研修会 各校の研究報告と指導助言         | 紐差小学校                    |
| R2. 6. 22   | 第1回 学校関係者会議「今年度の事業計画と紀要の検討」  | 中部中学校                    |
| R2. 7. 27   | 第1回 人権教育総合推進会議「事業概要と年次計画」    | ふれあいセンター                 |
| R2. 9. 15   | 3校教頭・研究主任会「研究紀要原稿の検討と日程確認」   | 中部中学校                    |
| R2. 11. 6   | 人権教育研究推進地域事業 研究発表会           | 根獅子小学校<br>紐差小学校<br>中部中学校 |
| R3. 1.      | 第2回 人権教育総合推進会議「事業報告」         | 書面にて報告                   |

#### 4 成果と課題

中部地区人権視点項目1つ目の【自己決定】では、発問の工夫やヒントカードの提示など教師の手立てを工夫した。2つ目の【自己存在感】では、学び合いの場面の設定やしっかりと聞く姿勢を大切にさせ、3つ目の【共感的人間関係】では、学び合いの時間の設定をしたり、協働学習の中で互いを認め合うことを促したりした。これにより、友達と学ぶ良さに気付き、主体的に学ぶことができる児童生徒の割合が増えた。

Q-Uアンケート等を活用し、児童生徒の実態と課題を把握してより深く広く児童生徒理解をすることができた。同時に全職員で共有することで、学級経営と教科指導に生かし、人とのつながりを意識した教育活動を行うことができた。

人権の視点での指導・支援について、児童生徒の実態に即した有効な学習形態や手立て、支援方法をさらに研究していく。特に、まだ自分の考えを伝えることを苦手とする児童生徒もいるため、学級の受容する雰囲気作りは今後も必要である。また、本事業を通じて取り組んできた小中連携や地域連携を継続しながら人とのつながりをさらに深めるとともに、系統性を意識した指導法を見出していきたい。